

科目コード 251401a 配当学年 1・2・3・4

科目名 ソーシャルメディア論 (OD)

教員名 小松 久美子

【授業の目的】

ソーシャルメディアなどの情報メディア活用ができるようになるために、さまざまなソーシャルメディアの特徴を理解し、情報収集・共有・発信のための知識を身につける。

【到達目標】

- ①ソーシャルメディアとは何か、サービスの実例を通じて、その特徴について説明できる。
- ②ソーシャルメディアとマスメディアの相違点について説明できる。
- ③日常生活でのSNS等の安全な利用や一歩進んだ活用について、検討することができる。
- ④SNS等の利用者として自分の立場で考え、メディアリテラシーの重要性について意見を述べるができる。
- ⑤

【授業概要】

LINE、Twitter、Instagram、Facebook、YouTubeなどの代表的なソーシャルメディアサービスの特徴を学び、インターネット、スマートフォンやタブレットの普及でソーシャルメディアが発展してきた経緯を知る。そして、ソーシャルメディアの情報発信におけるメディアリテラシーの重要性について理解を深める。

【授業の進め方・授業手法】

思考力・判断力を養うために、個別ワークを主とした学修活動を行う。また、「情報収集・分析力」及び情報リテラシーを高めるために、スマートフォン、タブレット、PC等の情報端末を用いて各種ソーシャルメディアサービスを実際に閲覧・利用する。個別ワークでは、あるテーマについて自分の考えをまとめて、小課題としてWebClassのワークシートに記入する。その後、WebClassの相互評価(ピアレビュー)で意見交換する。また、各回の振り返りとして、各自が新たに知ったこと・感想・質問等を小レポートに記述する。次回の講義で、その内容を元に質疑応答を行うので、反復しながら理解を深めることができる。

【準備学習】

- ・講義で取り上げるソーシャルメディアのアプリを必要に応じて事前にインストールし、実際に閲覧・使用してみる。 (各回1時間)
- ・毎回の小課題について、主体的に取り組み、〆切日までに提出すること。(各回1時間)
- ・各回の学修の振り返りとして、新たに知ったこと・感想・質問などを小レポートに具体的な記述で残していく、最終課題のレポートに反映できるようにする。(各回0.5時間)
- ・最終課題のレポートに向けて、ソーシャルメディアの利用方法・専門用語等を復習し、ノートにまとめておくこと。

【授業計画】

<授業形態>

この授業は、全回、オンデマンド形態(教材配信(音声あり))で実施する。

<授業計画>

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 ソーシャルメディアとは
- 第3回 ソーシャルメディアの実例(1)LINE
- 第4回 ソーシャルメディアの実例(2)Twitter
- 第5回 ソーシャルメディアの実例(3)Instagram
- 第6回 ソーシャルメディアの実例(4)Facebook
- 第7回 ソーシャルメディアの実例(5)動画系
- 第8回 ソーシャルメディアの実例(6)その他
- 第9回 ソーシャルメディアとマスメディア・オウンドメディア
- 第10回 ソーシャルメディアを支える技術
- 第11回 ソーシャルメディアと個人情報・セキュリティ
- 第12回 ソーシャルメディアと個人生活
- 第13回 ソーシャルメディアと企業活動
- 第14回 ソーシャルメディアを取り巻く環境と今後、レポート

授業計画は、状況・進度等に応じて変更になることがある。

【フィードバックの方法】

各回の小レポートに記された感想や質問に、次回の講義でコメントする。

【参考文献】

藤代裕之 著『ソーシャルメディア論・改訂版 つながりを再設計する』(青弓社, 2019)
 斉藤徹 著『入門から業界動向までひと目でわかる ソーシャルメディア』(アスキー・メディアワークス, 2010)
 総務省 著『令和4年版情報通信白書 ICT白書』(日経印刷株式会社, 2022, Kindle版)

【オフィスアワー】

研究室前に掲示のオフィスアワーを確認すること。質問・相談等は、WebClassのメッセージで受け付ける。

【担当教員からのメッセージ】

ソーシャルメディアの今と未来、その歩き方を考えよう。これからのソーシャルメディアがどうなるか、どうなしてほしいかもみんなで考える参加型の講義で自分の考えを持とう。

【履修上の注意】

講義中に、スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末を使用するので準備すること。PCを使用してもよい。小課題や小レポート等の提出をもって出席とする。

食物栄養学科健康実践栄養士課程の学生は、食物栄養学科健康実践栄養士課程専門科目の「ソーシャルメディア戦略」の方を履修すること。

【実務経験のある教員による授業内容】

授業担当者はデジタルコンテンツ、ウェブサイト、ソーシャルメディア・イベント等の企画プロデュース・制作・運用と企業・団体・官公庁への導入の実務経験を有しており、その実務経験を活用し、ソーシャルメディア活用方法に関する実践的教育を行う。

【ディプロマポリシーとの関係】

「教養力」「情報収集・分析力」

【テキスト】

使用せず。

| 評価方法 | 評価割合(%) | 到達目標との対応 |
|------------------|---------|----------|
| 平常点(小課題・小レポート) | 30 | ①② |
| 個別ワークと相互評価への取り組み | 40 | ③④ |
| レポート | 30 | ①②③④ |